

## 01 目的

美と健康のファンケルグループは「従業員の健康」がすべての基盤であるという認識のもと、健康食品業界のパイオニアとして、健康第一の風土づくりと健全な経営を推進し、新しい価値の創出と「不」の解消に挑み続けること。

## 02 課題・目標

## 健康経営で解決したい経営上の課題と効果



## 課題：①従業員のパフォーマンス向上

健康経営で解決したい経営上の課題	従業員の平均年齢の上昇に加えて定年延長の状況の中、メンタルヘルス不調や健診結果有所見率の低減、経営戦略に合わせた従業員エンゲージメントを向上させ、従業員がいきいきと笑顔で働ける職場を実現し、パフォーマンスを向上させることが課題である。
健康経営の実施により期待する効果	個人の健康度を上げることや職場環境改善等により従業員エンゲージメントの向上、生産性の向上につながることを期待している。ストレスチェック結果総合健康リスク120以上の部署が現在(2020年度)の4.2%から、2021年度は4%に、2025年度に3%以下になることを目標としている。

## 自社従業員(組織)の課題と目標



## ●重点課題1



## ⑩従業員の感染症予防

課題内容 感染症の社内感染による生産性の低下と感染症蔓延による従業員の不安。

## 社内集団感染者数(クラスターの発生)

目標	数値	年度
目標値	0件	単年度

## ●重点課題2



## ⑪女性特有の健康関連課題等の健康保持・増進に関する課題

課題内容 当社は女性従業員の割合が約8割と高く、女性特有の健康関連課題が経営に大きく影響すること。PMS(月経前症候群)、生理痛、更年期障害等の女性特有の健康関連課題によるプレゼンティーズム。

目標	数値	年度
目標値	現状、数値目標設定なし	—

## 04 健康経営の成果

## 経営上の課題に対する健康経営の成果

重点課題として挙げた2点以外にメンタルヘルスの取り組みも進めており、ストレスチェック結果総合健康リスク120以上の部署が2020年度の4.2%から、2021年度は4%になった。2025年度に3%以下になることを目標としている。

## 03 施策・実績

## 健康経営の取り組み

## ●施策内容&lt;重点課題1&gt;



- ・感染予防方法の周知
- ・相談先(休日含む)の周知
- ・コロナワクチン職域接種実施、ワクチンの就業時間内接種の推奨
- ・社内マニュアル整備
- ・感染者発生時の対応(社内保健師による健康観察、相談等)
- ・感染予防物品の配置(手指消毒、体温計)
- ・従業員に対し免疫力を上げるサプリメント(ビタミンD等)の配付
- ・テレワークの推奨とそれに伴う健康情報の発信
- ・インフルエンザ予防接種費の会社補助実施、社内接種の実施

## 社内集団感染者数(クラスターの発生)

	数値	年度
取組前実績値	0件	2020
現在の実績値	0件	2021

## 具体的な実践内容1

分類	自社サービス
名称	サプリメント(ビタミンD等)の配付
提供元社名	(回答不要)
内容	自社研究により在宅勤務や外出制限によるビタミンD産生低下のデータが得られる等により、コロナ禍においてサプリメント摂取で健康増進を図るため従業員への配付を実施。①「ビタミンD」配付(約4,000人×6カ月分:2020年10月)、②「免疫サポート」配付(約4,400人×3カ月分:2021年5月)また、③不織布マスク配付(約3,700人×8箱<1箱50枚入り>:2021年6月)④「免疫サポートチュアブルタイプ」「亜鉛」配付(×3カ月分:2021年10月実施)
導入時期	①2020年10月 ②2021年5月 ③2021年6月 ④2021年10月
選択理由	(回答不要)
評価(定量・定性)	●提供後の評価まで至っていないが、従業員から「免疫が高まり安心」という安心感の声がかかれた。

## 具体的な実践内容2

分類	自社組織
名称	コロナワクチン職域接種
提供元社名	(回答不要)
内容	コロナワクチン職域接種(1回目、2回目)
導入時期	1回目接種:2021年6月22日~7月4日 2回目接種:7月19日~8月1日
選択理由	(回答不要)
評価(定量・定性)	●本社勤務する従業員の73%が接種。 ●その他感染予防策の実施と併せて、社内集団感染は発生していない。

## 具体的な実践内容3

分類	自社サービス
名称	健康動画配信サービス
提供元社名	(回答不要)
内容	感染症および在宅勤務時に起こりがちな健康問題の予防・改善のための情報を盛り込んだ動画を配信。その他、生活習慣の改善に役立つ情報もあわせて配信。
導入時期	2020年~
選択理由	(回答不要)
評価(定量・定性)	●動画を視聴した社員から、在宅勤務時の不調改善に役立ったとの声が多数あった。

## 取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	特になし
今後取り組みたい施策の課題	朝食の欠食率が高いこと、運動習慣が少ないことについて、改善策を打っていきたい。そのうえで、コロナ禍の状況で働き方が変化している中での従業員の情報収集なども変えていく必要があると考えている。

## ●施策内容&lt;重点課題2&gt;



- ・婦人科健診・検診への費用補助(がん検診を含む)
- ・婦人科健診・検診の受診(定期健診時)に対する就業時間扱い
- ・従業員や保健師等による女性の健康専門の相談窓口設置
- ・女性特有の健康関連課題に対応(産業医や外部の医師、相談窓口の紹介等)
- ・女性の健康づくりを推進する部署(健康支援室)
- ・妊婦健診等の母性健康管理のためのサポートの周知
- ・メノポーズカウンセラーによるセミナーの実施
- ・各階層別の研修で男女問わず女性の健康について情報提供

	数値	年度
取組前実績値	現状、数値目標設定なし	—
現在の実績値	現状、数値目標設定なし	—

## 具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	(医師に教わる)女性特有のからだマネジメント講座
提供元社名	株式会社ファムメディコ
内容	講師によるオンラインセミナー
導入時期	2021年12月2日
選択理由	●価格 ●機能・性能 ●サービス・製品の可能性
評価(定性・定量)	●参加者:60名(12/2実施時点) …内訳:男性3名 女性57名 ※役職者20名 ●オンライン実施により匿名で参加できたことで、本音の質問ができた。 ●セミナー受講後、受診につながったケースがあった。

## 具体的な実践内容2

分類	自社組織/外部サービス
名称	婦人科健診・検診への費用補助
提供元社名	自社の健診補助と加入健康保険組合の健診補助
内容	子宮頸がん検診、乳がん検診(マンモグラフィ、超音波検査)
導入時期	子宮がん検診:15年以上前~、乳がん検診:2018年~
選択理由	●価格 ●効果 ●使いやすさ
評価(定性・定量)	●2020年度 乳がん検診受診率:83.3%(35才以上)、子宮頸がん検診受診率:63.3%(35才以上) ●受診結果、がんの早期発見と早期治療で職場復帰につながっている。